

平成30年度の教育活動等に対する学校評価書

令和元年5月24日

学校法人春日学園春日こども園 園長 脇本和義

- 1 こども園の教育目標
 - ・丈夫な子どもを育成する
 - ・健全な精神を育成する
 - ・情操豊かな子どもを育成する
 - ・自主自立の精神を育成する
 - ・社会性のある子どもを育成する
- 2 本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）
 - ・実践の成果が客観的に評価できるように推進する。
- 3 **自己評価結果とそれに対する**学校関係者評価結果
 （※評価点は、A（十分に成果があった）・B（成果があった）・C（少し成果があった）、D（成果がなかった）で表す。）

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	園としての反省と改善策	評価点	意見
楽しい保育	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、環境設定を工夫し主体性を育てる保育を実践している。 ・園は、全身を使って遊ぶ保育を実践し体力の向上を図っている。 ・園は、子どもが安心して過ごせる様に人間関係づくりに力を入れている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の利用学年を調整したり職員の見守り態勢を工夫したりして安全に遊べる環境をつくった。 ・職員研修で主体性を伸ばす環境構成の工夫に取り組み、自ら遊びを創り出す保育を意識的に心がけた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園の工夫改善が分かり易く説明されている。保育室や廊下に主体的に遊びに取り組めるスペースが設置されていて意図が分かる。 ・子どもたちの笑顔が多く、子どもたちが園の生活を楽しんで
子どもの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、園児の様子を家庭とのきめ細やかな連絡で把握している。 ・園は、園児に対して健康で安全な生活を指導し、実践させている。 ・園は、子ども一人ひとりに目を向け、個に応じた手立てを講じている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の様子を保護者と話し合う機会が十分確保できなかった。 ・特別支援教育の理念をもとに、保護者と連携して個に応じた保育を心がけた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・幸い大きな事故は発生していないが事故や災害は忘れた頃にやってくる。日頃から対応訓練を欠かさず実施したい。 ・子どもの様子を保護者に伝え、共に対策を考えていく方法を更に工夫していてもらいたい。
開かれた保育	<ul style="list-style-type: none"> ・園は、他の教育機関や地域住民との間で情報を共有する努力をしている。 ・園は、行事などの取り組みを家庭や地域に積極的に公開している。 ・園は、園だより・掲示・ホームページなどで情報を発信している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域住民に掲示板などを活用して情報提供したり、小学校と情報交換会を開催した。 ・ホームページは、ブログをほぼ毎日更新することが出来た。 ・園の取り組みを保護者に周知するために、学年便りや活動報告書を工夫して発行した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・登降園の引率の際に職員が気軽に挨拶をする親しみ易さがある。地域に愛される園であり続けてほしい。 ・園生活を知る上でホームページの効用は大きい。さらなる充実を期待する。